

県就労振興センター だより

錦を飾り
ふる里に
初の場所



CONTENTS

- 挨拶
- 施設紹介
- ふれ愛プラザだより
- 視察研修参加報告
- 事務局だより

● 作品の紹介 ●

「こどもの日」
 (社福)尾道のぞみ会 瑠璃寮
 Mayumi.N さん

第5号
2009年10月発行

発行 社団法人 広島県就労振興センター
 事務局 広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内
 TEL 082-252-3100 FAX 082-252-3155
 E-mail hwpc@axel.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hwpc.jp/>
 編集 広島県就労振興センター広報啓発部会

「ホスピタリティ」

広島県就労振興センター理事 森 浩 昭



料亭での
仕事の傍ら、
私はライフ
ワークとし
て十五年程前から、障害者作業所
の製品販売支援を行っている。
昨年、フードコーディネーター
という資格を取得した。そのテキ
ストの中に「サービス」と「ホス
ピタリティ」の違いについて書いて
ある。「サービス」は主人と従
業員の関係で従業員は服従するの
みであり、「ホスピタリティ」は、
もてなしを受けたい客人と、客人
の喜ぶことをしたい提供者という
両方向の意向が作用している。

「福祉」という言葉が無い時代、
日本は人情味があり、助け合う人
間関係があった。これは「おたが
いさま」という心が日本人の中に
あったからだ。

それは、まさに「サービス」と
「ホスピタリティ」の関係である。
「サービス」は訓練で学ぶこと
が出来るが、「ホスピタリティ」は
教育と経験の中で生み出される。

近年、国の障害者施策が進む中、
福祉を受ける側が「やってもらっ
て当たり前」という感覚を持つて
いないだろうか。これから障害
者が生きていく為には、社会と広いネッ
トワークを持ち、対
等な関係を築くこと
が重要であるように
思う。

障害者福祉についての講演の
際、いつも最後に「おたがいさま
という言葉で締めくくる。「福祉
という言葉は「やってあげる側」
と「やってもらう側」ができてし
まう。それは「福祉」をどんなに
進めても変わらない。
福祉の歴史について詳しくない

僕らのアトリエ ホームページ
<http://www.kurikawa.bokuranoatorie.html>